



社会医療法人康和会
広報誌

2020年10月発行

地域の皆さまの健康と長寿を願って

しらかばの風

No.73

認知症看護認定看護師

認知症の患者さんやご家族が 安心して過ごせるよう支援します



高齢社会に必要な認知症看護を提供

認知症看護認定看護師は認知症ケアのプロフェッショナルです。専門的な知識や技術を用いた認知症ケアを実施し、看護・介護スタッフの指導を行います。

基本理念

- ◎ 心のこもった医療
- ◎ 学ぶ心
- ◎ 社会への貢献

基本方針

- ・患者さま一人一人の権利を尊重し、最善の医療を展開します。
- ・急性期から慢性期、外来・在宅から入院までの一貫した医療を実践します。
- ・各医療施設や地域の方々と連携した医療を進めます。
- ・広く社会貢献に取り組みます。
- ・最新の知識の習得と臨床研究・発表を続けます。
- ・健全な経営に努めます。



質の高い医療を提供する
専門スタッフ

認知症看護認定看護師

認知症の患者さんやご家族が 安心して過ごせるよう支援します

認定看護師の役割

- 専門的で高水準な看護を提供する
- ほかの看護師や多職種に対し、専門的な知識・技術を指導・支援する

認定看護師は、「特定の看護分野における看護技術と知識を用いて、水準の高い看護が実践できる」と日本看護協会に認められた看護師です。一定期間の実務経験を有する者が対象で、6カ月（615時間）以上の教育課程を修了し、試験に合格した者だけが認定され、更新審査もあります。社会医療法人康和会でも、複数の分野の認定看護師が、医療の質を高めるために活躍しています。



また、認知症の患者さんの中には食が細くなり、食事を拒否するようになる方もいます。個々人に合った食事形態の選択や食事介助方法を考え、担当看護師と共に実践し、ご

高齢化が進む中で増加している認知症にはさまざまな症状があり、患者さんやご家族が不安を抱え、戸惑うことが少なくありませんが、適切な看護や環境によって症状の改善が可能です。患者さんが自分の言葉で伝えることができなくなっても、表情や身振り手振り、これまでの生活習慣などから、ご本人の思いを読み取り、毎日を穏やかに過ごせるようなケアを提供することを大切にしています。

認知症患者さんに残された能力を
最大限に引き出し生かす看護

札幌しらかば台病院

認知症看護認定看護師

只石 翔子



退院後の暮らしも
視野に入れる看護を

2015年に北海道医療大学認定看護師研修センターで8カ月間の研修を受けて「認知症看護認定看護師」の資格を取得しました。認知症の患者さんが退院後も安心して暮らせるよう支援したいと思っています。

家族にアドバイスも行います。患者さんに残された能力ややる気を最大限に引き出し、その人らしい日常を取り戻せるようにしたいと思っています。

認知症看護の実践力を高める
院内の学びを主導

認知症看護認定看護師が講師となり、看護職員と介護職員を対象とした認知症研修会を年1回開催しています。必要に応じて定期的に開催する「病棟内勉強会」では認知症ケアの実践力を高める具体的な技術を教えています。各病棟の代表看護師が毎月1回集まる「認知症ケアチーム会」では、各病棟の課題を共有化し、指導・解決へとつなげています。

看護に関わる全員が、個別性に応じた認知症看護を実践できるようになることを目指しています。



当法人の認定看護師一覧

- 皮膚・排泄ケア認定看護師… 2人
- 認知症看護認定看護師… 1人
- 感染管理認定看護師…… 2人



札幌
しらかば台
南病院

北海学園札幌高等学校の生徒の皆さんが
手作りのフェイスシールドで
医療従事者を支援

新型コロナウイルス感染拡大の影響で医療用防護具の不足が続く中、医療従事者の力になりたいと、北海学園札幌高等学校で医療系の進路を目指すクラスの3年生が放課後にフェイスシールド40枚を手作りし、7月16日に代表として来院した林涼夏さんが高田茂院長に手渡しました。

試行錯誤を重ねた品は、ラミネートフィルムで作られたもので、安全に扱えるよう角を丸くカットし、視界が曇らないよう額の当たる部分には隙間テープを取り付け空気の通り道をつくるなどの工夫が施されています。固定用のバンドはサイズ調節が可能です。

手作りのフェイスシールドを手にした職員たちは、「市販品にはない工夫もあり感激。生徒の皆さんの気持ちを大切に受け止めて使用したいと思います」と話しています。



代表生徒と並ぶ高田茂院長と日下こづえ看護科長



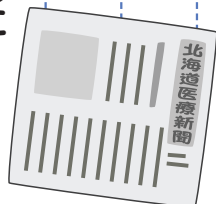
1枚ずつ消毒し袋詰めされたフェイスシールド



理事長のインタビュー記事が
北海道医療新聞に掲載
新型コロナウイルスから地域医療を守るために

北海道保険医会会長を務める当法人の加藤康夫理事長が新型コロナウイルス感染拡大による医療現場の状況や今後の対策についてインタビューを受け、8月7日付の北海道医療新聞に掲載されました。

加藤理事長は、道内医療機関の医療材料不足やス



タッフの確保、経営的な問題の深刻さなどを説明し、札幌しらかば台病院での発熱外来の設置やタブレット面会を紹介。「第3波が来ても医療崩壊が起きないよう道民の方々にはしっかりと『新北海道スタイル』を守っていただきたい」と呼び掛けました。



防災イベント 東月寒童夢セーフティフェスタ2020で
車いすの自走体験ブースを出展

社会
医療法人
康和会



の知識や災害時の心構えなどを学びました。

会場には豊平区にある2つの小学校の児童200人が訪れ、各ブースでのさまざまな体験を通して身を守るための知識や災害時の心構えなどを学びました。

当法人からも札幌しらかば台病院としらかばの杜の職員合わせて3人が参加し、車いすで自走体験ができるブースを設置しました。

9月14日に東月寒まちづくり協議会「童夢」主催の防災イベント「東月寒童夢セーフティフェスタ2020」が札幌ドーム駐車場で開催されました。同イベントは、子どもたちに「防災について楽しく学ぶ場」と「高齢者・障害者に対する理解を深める機会」を提供することを目的に、陸上自衛隊や豊平警察署、株式会社協栄車輛など、地域の企業や団体が協力して毎年行っています。

避難訓練

万が一の時に迅速な対応ができるよう、各施設で定期的の実施しています。



札幌しらかば台病院



7/30 夜間出火を想定したシミュレーション訓練

院内見取図を見ながら、旧棟4階物品庫からの夜間出火を想定し、避難経路や行動手順を確認しました。

札幌しらかば台篠路病院



9/16 机上訓練で、消火・通報・避難を検証

配膳室での夜間出火を想定し、図面を使って消火から通報・避難までをシミュレーションし、検証を行いました。

札幌しらかば台南病院



7/9 経路確認と消火・通報訓練

避難行動は行わず、経路確認と消火・通報訓練を実施。株式会社防災コンサルタント保守部課長の吉田達郎氏から消火の仕方や誘導方法について指導を受けました。

しらかばの杜



8/26 保育園の園児も参加しました

北海道ビルサービス株式会社の方々と保育園こどもクラブしらかばの園児たちと一緒に避難経路を確認。新入職員を中心に防災監視盤の操作確認も行いました。

感染症対策実施中 手指消毒のお願い

新型コロナウイルスの感染が世界的に流行しています。院内でも感染対策を行っておりますが、患者さまやご家族の方々にもご協力いただくことが重要です。

新型コロナウイルスは飛沫感染、接触感染で伝播するといわれています。当法人の各施設にも手指消毒剤を設置していますので、ご協力をお願いいたします。



しらかば農園だより



丹精込めて育てた野菜が実りました



札幌しらかば台南病院の「しらかば農園」では毎年、職員が土を耕し苗を植えて育てています。今年はトウキビ、ズッキーニ、ジャガイモ、カボチャ、ミニトマト、ダイコン、キュウリが収穫できました。

康和会では 医療技術向上を目指し 院内研修会を行っています

札幌しらかば台篠路病院

7/6～31
新型コロナウイルスが変えた医療現場
標準予防策の考え方、変わらざるをえないものと変えてはいけないもの
講師：東京医療保健大学／大学院
医療保健学研究科
吉田 理香氏

しらかばの杜

6/1～30
標準予防策の基本
講師：札幌しらかば台病院
感染管理認定看護師
高館 久美子

7/1～31
介護予防および要介護進行予防に
関する研修
講師：健康運動指導士
松葉 孝一

8/1～31
緊急時の対応
講師：応急手当普及員
小川 晃右

敬老会

9/18



デイサービスセンターしらかば

職員が歌謡ショーやマジックなどを披露しました。テーブルクロス引きが大成功し、利用者さまは拍手喝采。大変盛り上がりしました。

社会医療法人康和会

札幌しらかば台病院

【診療科】消化器内科・循環器内科・内科・脳神経内科・整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科・アレルギー科
札幌市豊平区月寒東2条18丁目7-26 / TEL 011-852-8866

札幌しらかば台篠路病院

【診療科】内科・消化器内科・リハビリテーション科
札幌市北区篠路7条4丁目2-15 / TEL 011-773-0711

札幌しらかば台南病院

【診療科】内科・消化器内科・リハビリテーション科
札幌市南区藤野2条11丁目7-1 / TEL 011-596-2621

サービス付き高齢者向け住宅 しらかばの杜

札幌市豊平区月寒東3条18丁目20-48 / TEL 011-826-5660

東月寒総合在宅ケアセンター

札幌市豊平区月寒東3条18丁目20-48

- 複合型居宅介護 しらかば / TEL 011-826-5565
- 24時間訪問介護看護 しらかば / TEL 011-826-5516
- 訪問看護ステーション しらかば / TEL 011-852-8816
- デイサービスセンター しらかば / TEL 011-826-5520
- ヘルパーステーション しらかば / TEL 011-826-5590
- ケアプランセンター しらかば / TEL 011-852-8815
- 札幌市豊平区介護予防センター東月寒・福住 / TEL 011-852-8830

保育園こどもクラブしらかば

札幌市豊平区月寒東3条18丁目20-48 / TEL 011-799-1444